

The background features a detailed illustration of a town with various buildings, a prominent tree, and a row of palm trees. Several hot air balloons with colorful patterns are floating in the sky above the town. The overall scene is bright and cheerful.

実績報告

2026年2月分

株式会社パラリンアート



Title

「雲の上にある街」

今、地上では、大きな醜い争いが2つ続いています。もし、空の上に平和な街があったら、夢や希望、ロマンを感じて貰えるのではと思い、作成した作品です。

Artist ケンタ

画像処理に強いです。以前、病院で「サヴァン症候群」に近い記憶能力があると診断されたました。その為、画像、映像などを覚えるのが得意です。

月次報告

2026年2月の月次売上をご報告いたします。

売上高

6,992 千円

前年対比 74%

営業利益

145 千円

前年対比 6%

経常利益

143 千円

前年対比 6%

当期純利益

143 千円

前年対比 6%

備考

【売上高について】
昨年度は人材事業による売上が2月に一括で計上されていることもあり前年比マイナスとなっています。
(今年度は別の月で計上)

【営業利益について】
2025年2月に単発の修繕費や業務委託費の修正計上があり営業利益が前年比6%となっています。

第17回巻心ECOプロジェクトデザインコンペ presented by ニチバン 結果発表

第17回巻心ECOプロジェクトデザインコンペ presented by ニチバンには、昨年を大きく上回る242点もの素晴らしい作品が寄せられました。【自然】【地球】【思いやり】【つなげる】をテーマに、多種多様な表現による作品が集まり、大きな盛り上がりを見せました。また、今回は初めて受賞されるアーティストの方々が多く、受賞者ご本人はもちろん、ご家族や施設職員の皆様にも大変喜んでいただきました。受賞作品は、当プロジェクトのポスターや感謝状、景品パッケージなどのデザインに使用される予定となっております。

最優秀賞



KT
「緑をつなぐ」

優秀賞



にゃあ
「ぺたっとつなげて笑顔」

入賞



はなもも
「クリーンな世界」



タダン
「あかるい日には」



banri
「思い合えば夜が明ける」



齋藤 早夏
「今を未来へ繋げる」



あん
「この手の上で」

「アルミと光」を描くパラリンアートコンテスト presented by UACJ 結果発表

本コンテストは2021年よりスタートし、今回で第5回目の開催となりました。株式会社UACJ様との共同開催により実施し、全国から78作品ものご応募をいただきました。「アルミと光」をテーマに、アルミニウムが生み出す軽やかで明るい世界を“光”として自由に表現した作品が集まりました。その中から、UACJグループ従業員の皆さまによる投票により、グランプリ1作品、UACJ賞2作品が選出されました。受賞作品は、株式会社UACJの統合レポートをはじめ、各種発表資料などに掲載される予定です。

グランプリ



KOTO

「アルミの光で輝く次世代の子どもたち」

UACJ賞



田尻はじめ
「未来へ導くアルミ竜」

UACJ賞



RIE
「光がいっぱい」

株式会社UACJ様 アートコンテスト「グランプリ」受賞者とのオンライン交流会開催

株式会社UACJ様との共同開催により実施したアートコンテストのグランプリ受賞者であるKOTOさんとのオンライン交流会を開催。受賞の喜びや作品に込めた想いをアーティストからお話しいただくとともに、企業様から選出理由や評価の声を直接お伝えいただき、社員の皆さまとアーティストが相互理解を深める貴重な機会となりました。こうした取り組みは、障がい者支援や多様性推進を体現するサステナビリティ活動として、社内浸透と社外発信の双方につながる意義ある機会となっています。

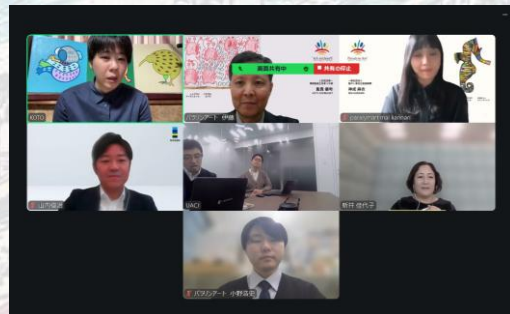
グランプリ受賞作品



KOTO
アルミの光で輝く次世代の子どもたち



パラリンアートアーティスト
KOTOさん



オンライン交流会の様子

交流会では、パラリンアートアーティストKOTOさんより、これまでの歩みや作品への想いについてお話しいただきました。

子どもの頃からものづくりや美術に親しみ、高校では美術部に所属し、進学後は染色や織り、刺繍など幅広い表現技法を学ばれたとのこと。アーティスト活動のきっかけは、就職後に新たな進路を模索する中で、パラリンアートの世界大会へ応募したことでした。準グランプリ受賞を機に、大きな自信と転機につながったと語られました。

作品づくりで大切にしていることは、「楽しんで制作すること」。テーマに沿ってデジタルでラフ案を作成し、アクリル絵の具やポスカで丁寧に仕上げる制作スタイルとのことでした。今回採用された作品には、「アルミニウム製品によって次世代の子どもたちの未来が明るくなるように」との想いが込められています。「アルミと光」というテーマから、ミラーボールや楽しそうな子どもたちを描き、明るく希望に満ちた世界観を表現されました。

今後は一般公募のコンテストにも積極的に挑戦したいとの前向きなお話もあり、参加者の皆さまに勇気と刺激を与える交流の場となりました。また、本取り組みは企業のサステナビリティ活動を社内外へ発信し、その想いを社員の皆さまへ浸透させる機会にもつながっています。こうした企業とアーティストをつなぎ、相互理解と活躍の機会を広げていくことも、パラリンアートが担う役割の一つであると考えております。